

【日野町】 校務 DX 計画

■GIGA 第 1 期の総括と課題の解決策

- ・クラウド環境を活用した校務改善の進捗状況には個人で差があることが明らかになった。
- ・特に下記項目について課題が残るため、課題と解決策を下記の通り計画する。

KPI	目標値（目標年度）
<b>課題と解決策</b>	
<b>教員と保護者間の連絡のデジタル化</b>	
児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡について、クラウドサービスを用い、PC・モバイル端末等から受付、学校内で集計している学校の率	100% (R8)
<p>・電話での児童生徒の欠席の連絡を、学習 e ポータル（まなびポケット）を活用して保護者から連絡を受けられるようにした。クラウドサービスからの連絡で、出席状況を担任だけでなく、校内で情報共有ができるようになった。</p> <p>・現在、電話で生徒の欠席連絡を受けているが、学習 e ポータル（まなびポケット）や校務支援システムの保護者連携機能を導入し、クラウドサービスから欠席連絡を受け、学内の管理情報に即時反映される環境を整備する。</p>	
<b>教員と児童生徒間の連絡等のデジタル化</b>	
児童生徒への調査・アンケート等にクラウドサービスを用いている学校の率	100% (R8)
<p>・現在、教育委員会からの依頼や学校独自のアンケート調査を紙で運用している部分があるため、実施および集計報告業務に多大な業務時間がかかっている。児童生徒に配布している Google アカウントを活用し Google form を用いてアンケート実施することで、業務時間の削減をめざす。</p>	
<b>学校内の連絡のデジタル化</b>	
職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の率	100% (R8)
<p>・現在、教職員に Google アカウントを配布しており、ほとんどの職員の活用が進んでいる。特に利活用が進んでいる職員における好事例をまとめ、校内全職員へ展開するとともに、校内ネットワーク環境による学校内連絡のデジタル化を徹底し、職員会議等の資料共有には校務ネットワーク等を用いることでペーパーレス化が確立できている。</p>	

■校務 DX の推進に向けて

- ・「教育 DX に係る当面の KPI」に定められる各項目について、課題と解決策を下記の通り計画する。

KPI	目標値（目標年度）
<b>課題と解決策</b>	
FAX でのやり取り・押印を原則廃止した学校の率	100% (R7)
<p>・押印については、日野町としては令和 4 年 4 月 1 日付で「日野町が施行する文書の公印の押印の省略等に関する規則」を施行しており、今後も押印の省略及び記名をもって署名に代えることで事務の簡素化を進めていく。</p> <p>・FAX でのやり取りの見直しについては、教育委員会と学校間では既に FAX は使用しておらず、外部に対しては相手方の事情がある場合を除き、原則廃止する取り組みを推進する。</p>	

クラウド環境を活用した校務 DX を積極的に推進している学校の率	100% (R8)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の欠席・遅刻連絡のデジタル化や、個人面談の日程調整などをデジタル化し情報収集・調整にかかる時間を短縮し、教職員の負担軽減を実現するために利便性の高いクラウドサービスを導入する。次世代の校務系ネットワークの検討が今後進んでいくが、クラウド活用の進行に対するセキュリティの強化を踏まえ、効率的な運用が可能となるよう最適化を図る。</li> <li>・現状はオンプレミスで利用しているシステムが多いが、クラウドサービスを安全な環境で活用できるようゼロトラストの考えに基づいたセキュリティ環境を構築する。</li> <li>・ゼロトラスト環境下で、教職員が使用する校務系端末と学習系端末の一台化を実現しさらなる利便性向上をめざす。</li> </ul>	
次世代の校務支援システムの導入に向けた検討を行う自治体の率	100% (R8)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代の校務 DX の推進における学校と教育委員会、学校内での教員や事務職員、ICT 支援員、教員業務支援員等の役割分担を整理する。</li> <li>・教育情報セキュリティポリシーを最新のガイドラインに準じる内容に改訂し、順次、校務にかかわる ICT 環境の改善を図る。</li> </ul>	